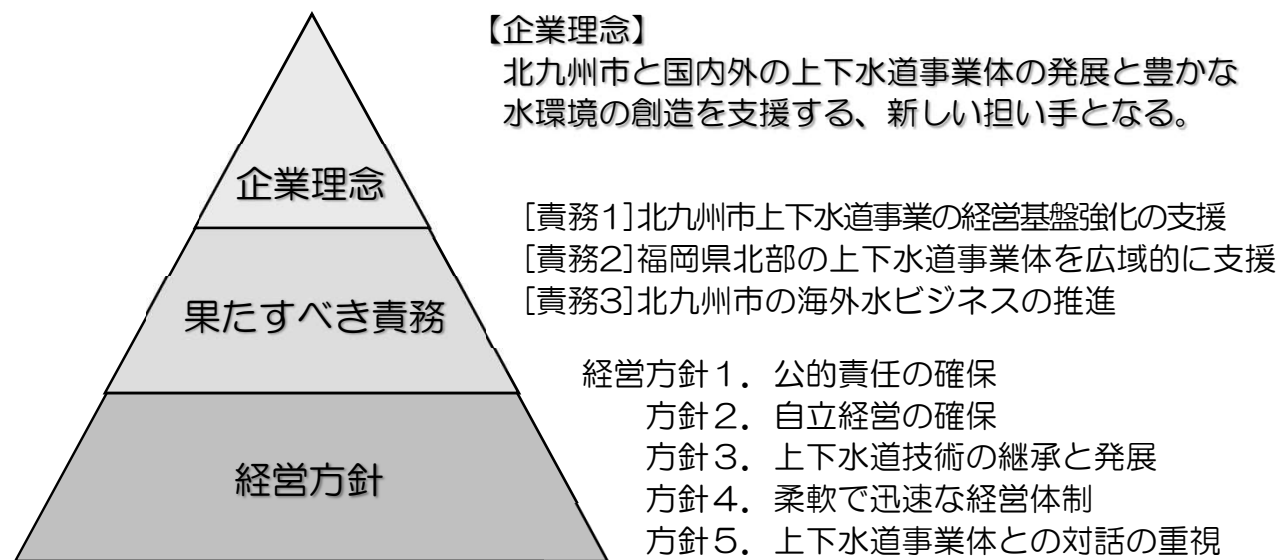


(株)北九州ウォーターサービス 中期事業計画（令和3年度～令和7年度） 概要

1 経営ビジョン



2 目指すべき姿（経営目標 令和3年度～令和7年度）

（共通）

市のパートナーとして市内・広域・海外事業を推進、市が目指す上下水道の実現に寄与新規事業の開拓等、自立した経営基盤の強化を図るとともに民間的経営手法を取り入れる

（市内事業）

市上下水道事業の受託業務を着実に実施、市のパートナーとしての役割を果たす
市との連携やサポート体制を強化、市内事業における最適な事業推進の在り方を検討

（広域事業）

宗像地区の包括受託の実績を活かし、市と連携して福岡県北部を広域的にサポート
将来的には福岡県北部を超えて、広く事業展開を図ることを目指す

（海外事業）

株式会社の機動性や市外郭団体の信頼感等を活かし、市と連携して積極的に取り組む
水関係企業の海外進出をサポートし、海外水ビジネス推進協議会事務局の役割を果たす

3 対応すべき課題

課題① 組織を支え、飛躍させる「人材の確保と育成」

- ・シニア世代（市退職者）への偏重による短いサイクルでの人員交代

課題② 新しいビジネスチャンスとしての「広域事業・海外事業への対応」

- ・課題を抱える小規模事業体との広域連携、海外事業におけるSDGsへの貢献

課題③ 変化にも対応できる「経営基盤の強化」

- ・新たな事業展開、人材確保、大規模災害等にも的確に対処できる経営基盤の強化

4 主な取組み

（共通）

・業務に必要な人材の確保・育成

若年層や海外業務経験者等の人材確保の実施、通年採用や即戦力者採用等の検討
プロフェッショナル人材とマルチ人材の育成、技術継承マニュアルの拡充

・信頼される会社への取組み

BCP（事業継続計画）を策定、演習を実施することで、有事の際に備える
研修や教育プログラムの充実を図り、コンプライアンスの徹底を浸透させる

・健全経営の継続

新規事業、社員の処遇の改善等について、収支を注視しながら内部資金を活用

（市内事業）

・上下水道施設運転管理等の無事故

市受託事業の安全確実な遂行のため、社内研修や資格取得研修、訓練等を実施

・給排水審査受付の電子化

お客さまの利便性向上のため、受託業務の給排水審査受付の電子化を検討

（広域事業）

・新規事業の獲得・拡充

課題解決を模索している事業体に対して各種業務等を提案、その受託を目指す
セミナー・官民連携協議会等に参加し、各事業体の課題やニーズを把握する

・宗像地区包括受託支援体制の強化

効率的な運営体制の構築、各種技術継承マニュアルの作成、OJT研修の実施

（海外事業）

・ODA案件の形成と受託

市と連携し、新規ODA案件の形成を図るとともに、その受注を目指す

・海外水ビジネス推進協議会会員の支援

セミナー、ビジネス交流会の開催やJICA等の案件情報の提供で会員企業を支援

5 事業計画目標

- 計画目標 ◎ 売上高・・・1,900百万円（R7）【R1実績：1,775百万円】
◎ 自主事業売上高・・・143百万円（R7）【R1実績：55百万円】

- 年度目標 ○ 上下水道施設運転管理等の無事故
○ 自主事業受託件数・・・10件以上/年【R1実績：10件】
○ 当期純利益・・・30百万円以上/年【R1実績：35百万円】